

ICTで 授業をDX!

学年 小学校2年 教科 算数

準備いらずの個別最適化された学習

使用するアプリケーション等
・ミライシード
(オクリンク)

単元・題材 かけ算

本時の目標 乗法九九を総合的に活用して、ものの数の求め方を、かけ算を用いて解決できるように工夫して考え、説明することができる。(思考力、判断力、表現力)

ICTを活用することで できること

- ・ヒントカードを用意し、児童のレベルにあった支援を行うことができる。また、ヒントカードの作成は、ICTの活用により時間も手間もかけずに行うことができる。
- ・学習者用端末への書き込みによる、直感的な操作で問題を考えることができる。
- ・児童が端末を操作している様子を、リアルタイムで教員が確認を行える。
- ・児童の思考を、画面共有によりクラス全体に共有することができる。
- ・予習、復習を家庭での学習で行うことができる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ①問題を提示し、本時の学習で考えていくことをおさえる。1個ずつ数えていくと、数が増えていくにつれ、時間がかかってしまうことを認識させる。

2 展開

- ①めあてを書かせる。
【めあて】  のような●の数を計算で求めよう。
- ②どんな求め方があるか、ノートに意見を書かせる。
- ③机間指導をしながら、教師が共有したい考えで解いている児童にホワイトボードを渡す。
- ④学習が進まない児童に、印刷しておいたヒントカードを渡して参考にさせる。
- ⑤自力解決の時間を十分にとった後、ホワイトボードに書いた児童が、他の児童にも見せながら発表する。
- ⑥色々な考えの中から、わかりやすい考えをノートにメモする。

3 まとめ

- ①まとめを書かせる。
【まとめ】 同じ数のまとまりに注目すれば、かけ算を使って求めることができる。
- ②適応問題を解かせる。



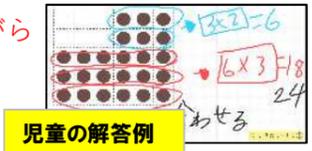
DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ①問題を提示し、本時の学習で考えていくことをおさえる。1個ずつ数えると、数が増えていくにつれ、時間がかかってしまうことを認識させる。

2 展開

- ①めあてを書かせる。
【めあて】  のような●の数を計算で求めよう。
- ②学習者用端末に問題を送り、画面に直接書き込んで考える。
●教科書の問題をスキャンして、児童に端末上で配付する。
●時間の限り何通りも考えられるよう、複数枚配付する。
- ③オクリンクの「Liveモニタリング」機能を使いながら、児童それぞれの解き方を把握する。
- ④難しいと感じている児童、ヒントが欲しいという児童の端末に、ヒントカードを送る。
●数種類用意し、必要な分を配付する。
- ⑤自力解決の時間を十分にとった後、学習者用端末の画面を共有させながら発表させる。
●色々な考え方があることに気付かせる。
- ⑥色々な考えの中から、わかりやすい考え方をノートにメモする。



3 まとめ

- ①まとめを書かせる。
【まとめ】 同じ数のまとまりに注目すれば、かけ算を使って求めることができる。
- ②適応問題を解かせる。

4 事後指導

- ①九九の定着を図るために、家庭学習を以下のもので行う。
(1)ドリル (2)九九計算カード (3)オクリンクの動画撮影



左の画像は「(3)オクリンクの動画撮影」です。動画撮影なので、宿題にしているでも正しく練習ができているか確認できる!!



授業者から (成果・課題・留意点)

- ・プリントの作成、印刷の時間がなくなり、授業準備の時間を大幅削減することができた。また、授業の中で新しく思いつく「こんなヒントを与えられたら良かったな」という後悔をすることなく、新しく思いついたら端末上で作成し配付することができた。
- ・代表の児童がホワイトボードに書く時間がなくなり、自力解決の時間を一杯思考の時間に使うことができた。
- ・画面共有を行うことで、素早く色々な意見を発表させることができた。
- ・画面共有等の操作方法を先に伝えておくことや、多少の慣れがないと、思考の時間が減り操作方法の指導の時間になってしまう。